



平成 29 年 2 月 10 日  
伊勢市立大湊小学校  
校長 後藤 安代

No.20

## 授業参観・PTA 奉仕作業へのご参加ありがとうございました

2月4日の授業参観とPTA親子奉仕作業に、多数の保護者のみなさんに参加をしていただきました。「学習発表会」や「二分の一成人式」を公開した学年もあり、保護者のみなさんもいっしょに楽しんでいただきました。また、教科の授業や道徳の授業を公開し、この一年のがんばりを見せてくれた学年もありました。保護者のみなさんには、この一年間の子どもたちの成長を感じていただいたことと思います。

3限目の親子奉仕作業では、校舎内、体育館の日ごろ掃除の難しいところをきれいにしていただき、ありがとうございました。みなさんのおかげで、気持ちよく学校生活を送ることができます。作業中、子どもたちの熱心に取り組む姿をたくさん見せてもらい、とてもうれしく思いました。ご協力いただいた保護者のみなさん、本当にありがとうございました。



## 伊勢型紙の作品をパラオ共和国のナカムラ元大統領へプレゼントしました

三重県赤十字社理事の牛場まり子さんが、パラオ共和国の赤十字社との交流でパラオ共和国へ行かれるとうかがいしました。訪問中の予定にナカムラ元大統領ともお会いする機会もあるということでした。本校は、ナカムラ元大統領のお父さんが大湊出身ということで、パラオ共和国のコロール小学校と姉妹校提携をしていることもあり、5年生のみんなで「伊勢型紙」の色紙を作り、プレゼントしました。自分たちの作った作品が太平洋を越えてパラオ共和国へ届くかと思うと胸がわくわくします。喜んでいただけると嬉しいです。



## パソコンやスマートフォンとのつきあい方を学ぶ～5, 6年生～

2月7日に伊勢市教育研究所の出口 晃先生に来ていただいて、情報モラルについて5, 6年生が教えていただきました。インターネットは使い方によっては便利で有効なことも多いけれども、使い方をまちがえると取り返しのつかないことになってしまうことがわかりました。

出口先生が子どもたちに強い口調で言われたことは、『インターネットで一度流出した情報は全部を消去することは不可能なので、十分気をつけること』『何気なくインターネットにのせた写真のデータには、写真を写した場所が特定されるような情報を含んでいるので危険である』『ネットを使って悪口を書くことは絶対してはいけない』ということでした。ぜひ、子どもたちに守ってほしいです。

また、ネットに載せて大変なことになった例として、コンビニでふざけて撮った写真をインターネットに載せた話がありました。店員としてやってはいけないことをやってしまった上、その写真をネットに載せたことで店にも多大な損害を与えることになりました。本人は、解雇された上、店から高額な損害賠償を求められたそうです。

最後には、1日1時間以上ゲームをすると、学校で学んだことを脳が忘れてしまうということが統計的に明らかになっていると話されました。本校でも、児童アンケートなどから推測すると、パソコンや携帯電話、ゲーム機などをさわっている時間が3時間以上にもなる児童もいるように思います。このままでは、学習にも大きな影響があると考えられます。まずは、ご家庭で『ゲームなどは、決められた時間内にする』という約束を決めて、ぜひ守らせてほしいと考えます。保護者のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

### <児童の感想から一部抜粋>

- ・今日の話聞いて、ふざけて嫌なことや悪口、個人情報をのせないようにしようと思います。自分の成績が下がっていく理由は、ゲームやスマホのさわりすぎと初めてわかりました。
- ・「人の悪口をのせない」「個人情報のはのせない」「ふざけてやったことが一生残る」「時間を決める」の4つは覚えていきたいと思いました。

